

東日本大震災にあたり、発災直後から力強く温かい御支援を賜りましたこと、ここに県民を代表し心より感謝と御礼を申し上げます。

貴県の御協力のもと、これから先、復旧・復興に長い時間を要することになりますが、国による第三次補正予算も措置され、本格的な復旧・復興に向けて一步を踏み出すことができることとなり、県民も大きな期待を抱いているところであります。

しかしながら、1,800万トンにも及ぶ膨大な量の災害廃棄物の早期の処理が大きな課題となっており、また、福島第一原子力発電所における事故による放射性物質の汚染問題が拡大するにつれ、県外の自治体の処理施設での処理受入が困難な状況となっております。

本県でも災害廃棄物のモニタリング調査実施による安全性の確保や放射線量の低減に向けた分別の徹底などに努めることとしているほか、一般廃棄物埋立処分場の処理可能量の見直し調整や災害廃棄物の再利用による減量化など、県内施設の処理能力増嵩のための努力を続けているところですが、膨大な量の災害廃棄物であるため県内の処理施設のみでは限界があり、どうしても県外の自治体に御協力をお願いせざるを得ない状況にあります。

つきましては、被災地の災害廃棄物処理の現状を御理解いただき、災害廃棄物の処分等に対する貴県執行部等への働きかけ、災害廃棄物の広域処理に係る国の主体的な取り組みについての働きかけなどについて貴議会の御協力・御支援を賜りますようお願い申し上げます。

宮城県議会議長 中村 功